

ロシア・ゴスフィルモフォンドの日本映画 調査・収蔵完了報告

常石 史子
Fumiko Tsuneishi

連載： フィルム・アーカイブ の諸問題 第56回

ロシアの国立映画保存機関、ゴスフィルモフォンドに保管されている日本映画を調査し、収蔵する事業の経緯については、本誌でも度々報告をしてきたところである(佐伯知紀「ゴスフィルモフォンドの日本映画」『NFCニューズレター』11号 他)。フィルムセンターでは、1996年・97年に実施した現地調査の結果を受け、1999年度より順次収蔵を行なってきたが、6年を経てこの度ようやく一通りの作業が完結した。これまで『NFCニューズレター』20号、22号、35号でもリストを発表してきたが、これらはあくまでもゴスフィルモフォンドで存在が確認された作品のリストであった。今回は、フィルムセンターが2004年度末までに実際に収蔵したフィ

ルム347作品のリストである。

収蔵するか否かの判断は、以下のような基準に照らし、優先順位をつけた上で行なった。

- 1) 日本国内にフィルムが存在しないと思われる場合
- 2) 日本国内にフィルムが存在するが、16mmしかない、欠落が多いなど、ロシアの素材の方が画質・音質や完全度において優れていると思われる場合
- 3) 日本国内に35mmフィルムがほぼ完全な形で存在するが、日本版ではすでに失われている場面がロシア版に残っている場合、あるいはその可能性が見込まれる場合

また、現地調査の段階で作品のタイトルが特定できなかったものについては基本的にすべて収蔵した。したがって、従来のリストにあって今回のリストにないもの(収蔵されなかったもの)は、上の基準に照らして収蔵する必要が認められなかったもの、あるいは事後調査により別タイトルになっているものである。中国語、朝鮮語など外国語作品であっても、日本に何らかの関連が認められる限りすべて収蔵している。

劇映画については、可能な限りタイトルの特

定を行なったが、まだ20巻ほどが未特定のままに残っている。劇場公開よりもプリント販売を主な販路とする教化・宣伝目的の短篇映画には、劇場公開記録、各映画会社の製作記録などの文献に残らないものも多く、その特定の難しさを痛感させられた。文化・記録映画では、俳優が出演していないこと、似通った内容で多くの作品が作られていることに加え、包括的な記録文献がさらに少ないため、タイトルがフィルム上に明示されないものは基本的に仮題としているが、満洲映画協会作品をはじめ、史料的に貴重なものが多く含まれている。

これらのうち作品として比較的完全度の高いものは、『発掘された映画たち2001』や『同2003』、また昨年開催した『日本アニメーション映画史』などの企画上映で順次公開してきた。本年7月19日から8月18日にかけて開催される『発掘された映画たち2005』においても、日本とドイツとの初の本格的な国際合作である『武士道』(1925年)、ヘンリー小谷が撮影を手がけた初のオールトーキー時代劇『中山七里』(1930年)、ロシアで確認された中では最も古い作品である『日蓮上人 龍乃口法難』(1920年)など18作品程度を上映する予定である。■

(フィルムセンター研究員)

劇映画(175作品)

製作年	映画題名	製作会社	監督	出演
1920	日蓮上人 龍乃口法難	国際活映	吉野二郎	市川崑十郎、澤村四若
1921	救の手	国際活映		林千歳
1924	春は還る	朝日キネマ	栗原喜三郎 内田吐夢[補助監督]	澁井如水、瀧田静江
1925	武士道	東亜キネマ(等持院)	賀古残夢 H・K・ハイラント	明石潮、岡島艶子
1925	踊れ若者	東亜キネマ(甲陽)	曾根純三	杉狂児、鹿島陽之助
1926	日出づる国の武士	日活(大將軍)	波多野安正	河部五郎、尾上多見太郎
1926	小桜銀次	帝国キネマ	唐沢弘光	松本田三郎、柳まさ子
1926	母と子	社会教育映画研究所		
1927	渚の花	極東映画社	浅野登	暁優美子、川原貫三
1927	人類の敵	朝日キネマ		額田豊(医学博士)、佐藤正(内務省防疫官・医学博士)
1927	晴れゆく空	松竹(蒲田)	赤穂春雄	石山龍嗣、松井潤子
1927	地下室	松竹(蒲田)	薦見丈夫	諸口十九、松井千枝子
1928	かわいさうな大九郎	マキノプロダクション(御室)	松田定次	根岸東一郎、沢田敬之助
1928	子爵家と嗣子	東亜キネマ	米澤正夫	高田稔、竹村信夫

製作年	映画題名	製作会社	監督	出演
1928	十字路	衣笠映画連盟 松竹(京都)	衣笠貞之助	千早晶子、阪東寿之助
1928	天保泥絵草紙	帝国キネマ	山下秀一	明石緑郎、阪東豊昇
1928	日輪を仰ぐ者	東京シネマ	山根幹人	畑中夢坡、伊志井寛
1928	民族の叫び	松竹(蒲田)	野村芳亭	井上正夫、筑波雪子
1929	からくり蝶 後篇	東亜キネマ	後藤岱山	嵐寛寿郎、原駒子
1929	親	松竹(蒲田)	清水宏 大久保忠素	新井淳、高尾光子
1929	消防隊	森本登良男プロダクション	光田比登志	静香八郎、香川良介
1929	彼と人生	松竹(蒲田)	牛原虚彦	鈴木伝明、田中絹代
1930	何が彼女をそうさせたか	帝国キネマ	鈴木重吉	高津慶子、藤間林太郎
1930	九條武子夫人 無憂華	東亜キネマ	後藤岱山 根津新	三原那智子、高野豊洲
1930	中山七里	発声映画株式会社 ミナトーキー	落合浪雄	市川小太夫、春野歌子
1931	侠勇三馬鹿鳥	松竹(下加茂)	渡辺哲二	小笠原章二郎、小泉嘉輔
1931	山村の光	松竹(蒲田)	松井稔	岩田祐吉、結城一朗
1931	敷設列車	東亜キネマ	別宮幸雄	小川雪子、大井正夫
1932	愛と憎しみ 涙の惨劇	新興キネマ	中島宝三	若葉馨、上田寛

製作年	映画題名	製作会社	監督	出演
1932	勅諭下賜五十年記念 陸軍大行進	松竹(蒲田)	清水宏 佐々木康他	奈良真養、河村黎吉
1933	輝く門出	日活(太秦)	三枝源次郎	井染四郎、山本嘉一
1933	護持院ヶ原の火華	宝塚キネマ	後藤岱山	羅門光三郎 矢野伊之助
1933	『長門』の叔父さん	横浜シネマ商会	青地忠三 [監督]	
1933	海援隊快撃	朝日映画連盟	志波西果	月形龍之介 結城重三郎
1934	愛は輝く	日活(太秦)	千葉泰樹	中田弘二、山路ふみ子
1934	嬉しい娘	日活(太秦)	千葉泰樹	山田五十鈴、杉狂児
1934	金色夜叉	赤澤キネマ	赤澤大助	片桐敏朗、四条華子
1934	爆弾花嫁	松竹(蒲田)	佐々木啓祐 斎藤寅次郎 [編集]	谷麗光、柳井小夜子
1934	碧海忠魂	満洲映画協会		
1934	母の微笑	日活(太秦)	渡辺邦男	山本嘉一、山路ふみ子
1934	さくら音頭	新興キネマ	清涼卓明	中野かほる 見明凡太郎
1934	小林十九二主演 結核 予防[仮題]	松竹(蒲田)		小林十九二、忍節子
1935	暁の路	新興キネマ(東京)	清涼卓明	浅田健二、歌川八重子
1935	剣客商売	新興キネマ(京都)	土肥正幹	田村邦男、久松三津枝
1935	大菩薩峠 甲源一刀流 の巻	日活(京都)	稲垣浩 山中貞雄 [応援監督] 荒井良平 [応援監督]	大河内伝次郎 黒川弥太郎
1935	忠烈大楠公	モリモト映画		
1935	追分三五郎	太秦発声	辻吉朗	黒川彌太郎、花井蘭子
1935	無鉄砲選手	マキノ・トーキー	根岸東一郎	中野英治、山縣直代
1936	乙女橋	新興キネマ(大泉)	川手二郎	江川なほみ、姫宮接子
1936	加賀見山	マキノ・トーキー	根岸東一郎	原駒子、松浦築枝
1936	俠骨幡随院	甲陽映画	園池成男	羅門光三郎 金井憲太郎
1936	金鑛	第一映画	寺門静吉	夏川大二郎 大倉千代子
1936	黒蜻蛉	マキノ・トーキー	久保為義	月形龍之介 大倉千代子
1936	次郎長裸旅	マキノ・トーキー	久保為義 マキノ正博 根岸東一郎	葉山純之輔 光岡龍三郎
1936	芝浜の革財布	マキノ・トーキー	根岸東一郎	田村邦男、松浦築枝
1936	修羅八荒 第二篇	マキノ・トーキー	久保為義	葉山純之輔、原駒子
1936	修羅八荒 終篇	マキノ・トーキー	中川信夫	葉山純之輔、原駒子
1936	松平外記	マキノ・トーキー	松田定次	澤村國太郎、團徳麿
1936	浪華悲歌	第一映画	溝口健二	山田五十鈴、梅村容子
1936	國定忠治 信州子守歌	マキノ・トーキー	マキノ正博	月形龍之介 澤村國太郎
1936	驀走白馬隊 前篇	甲陽映画	下村健二	羅門光三郎 天津龍太郎
1936	驀走白馬隊 後篇	甲陽映画	下村健二	羅門光三郎 天津龍太郎
1936	第二の母	日活(多摩川)	田口哲 春原政久	中野かほる、井染四郎
1937	吉良の仁吉	今井映画	児井英男	海江田讓二、月宮乙女
1938	鞍馬天狗 角兵衛獅子 の巻	日活(京都)	マキノ正博 松田定次	嵐寛寿郎、原健作
1938	巡禮やくざ	日活(京都)	菅沼完二	尾上菊太郎、原健作
1938	振袖若衆	新興キネマ(京都)	木藤茂	大友柳太郎、高山広子
1938	男の魂	新興キネマ(東京)	曾根千晴	河津清三郎、清水将夫
1938	懐古の一夜	奥田商会		
1938	非常ラッパ	学校巡回映画連盟		
1938	嬉しかったが父様は	大日本天然色ト ーキー研究所	森江章浩	落合文太郎、高津愛子
1939	エノケンの鞍馬天狗	東宝(東京)	近藤勝彦	榎本健一、柳田貞一

製作年	映画題名	製作会社	監督	出演
1939	黄金の鷹	全勝キネマ	橋本松男	大河内竜、高砂澄子
1939	家なき娘	新興キネマ(東京)	伊奈精一	美嶋まり、大井正夫
1939	河童大合戦	極東キネマ	米沢正夫 白鳥雅一	雲井竜之介、林寛
1939	鬼あざみ	新興キネマ(京都)	森一生	羅門光三郎 浅香新八郎
1939	女性の力	日活(多摩川)	伊賀山正徳	村田知英子、北龍二
1939	鐐鳴浪人	日活(京都)	荒井良平	阪東妻三郎 沢村國太郎
1939	天保斬魔剣	全勝キネマ	金田繁	大城喜八郎 吉井菊太郎
1939	土	日活(多摩川)	内田吐夢	小杉勇、風見章子
1939	牢獄の花嫁(前後篇)	日活(京都)	荒井良平	阪東妻三郎 尾上菊太郎
1939	國民の誓	国光映画	野村浩将	ゼップ・リスト 佐野周二
1939	街の野良犬	税務局 極東映画社		
1939	街頭に叫ぶ 奥村五百子	ミツフ映画	長尾史録	新劇研究座
1939	夕やけ小やけ	三雄映画社		
1940	お絹と番頭	松竹(大船)	野村浩将	田中絹代、上原謙
1940	維新子守唄	松竹(京都)	星哲六	伏見信子、柳さく子
1940	三剣怒濤に躍る 前篇 東海颶風の巻	全勝キネマ	山田兼則	天津龍太郎、大河内龍
1940	三剣怒濤に躍る 後篇 南海怒濤の巻	全勝キネマ	山田兼則	天津龍太郎、大河内龍
1940	笑ふ地球に朝が来る	南旺映画	津田不二夫	岸井明、月田一郎
1940	大地に誓ふ	加治商会	山口順弘	押本映治、國方博之
1940	暢気眼鏡	日活(多摩川)	島耕二	杉狂児、轟夕起子
1940	釣鐘草	東宝(京都)	石田民三	高峰秀子、小高たかし
1940	南進女性	新興キネマ(東京)	落合吉人 深田修造	美嶋まり、安部徹
1940	南風交響楽	南旺映画	高木孝一	丸山定夫、河津清三郎
1940	燃ゆる大空	映画科学研究所 東宝(東京)	阿部豊	大日方傳、月田一郎
1940	娘の春	新興キネマ(東京)	久松静児	近衛敏明、美嶋まり
1940	續 鐐鳴浪人	日活(京都)	荒井良平	阪東妻三郎 沢村國太郎
1940	續清水港	日活(京都)	マキノ正博	片岡千恵蔵、廣澤虎造
1941	右門捕物帖 幽霊水藝 師	日活(京都)	菅沼完二	嵐寛寿郎、沢村国太郎
1941	海を渡る祭礼	日活(京都)	稲垣浩	市川春代、戸上城太郎
1941	決戦奇兵隊	日活(京都)	丸根賛太郎	嵐寛寿郎、沢村国太郎
1941	三太のラッパ	大日本児童映画協会 南旺映画	津田不二夫	林文夫、高橋君子
1941	世紀は笑ふ	日活(多摩川)	マキノ正博	杉狂児、轟夕起子
1941	誓ひの港	松竹(大船)	大庭秀雄	河村黎吉 東山千栄子
1941	大将の母	皇国映画 大日本教育映画協会	山上紀夫	村瀬幸子
1941	第五列の恐怖	日活(多摩川)	山本弘之	永田靖、轟夕起子
1941	別離傷心	日活(多摩川)	市川哲夫	山田耕子、永田靖
1941	北極光	新興キネマ(東京)	田中重雄 住吉健嗣	小柴幹治、眞山くみ子
1941	力の勝利	振進キネマ社	井上麗吉	高島敏郎、一條真一郎
1941	彌次喜多再来 東京見物	文化起業株式会社		柳家金語楼、大辻司郎
1942	おもかげの街	東宝	萩原遼	長谷川一夫 入江たか子
1942	お市の方	大映(京都)	野淵昶	大友柳太郎 宮城千賀子
1942	海賊旗吹ッ飛ぶ	松竹(下加茂)	辻吉朗 マキノ眞三	高田浩吉、澤村國太郎
1942	海猫の港	大映(東京)	千葉泰樹	杉狂児、瀧口新太郎
1942	久遠の笑顔	東宝	渡邊邦男	古川緑波、轟夕起子
1942	山まつり梵天唄	東宝	石田民三	黒川彌太郎 柳家金語楼

製作年	映画題名	製作会社	監督	出演
1942	新雪	大映(東京)	五所平之助	水島道太郎、月丘夢路
1942	戦傷の春	振進キネマ	井上麗吉	高橋四郎、三井章正
1942	大阪町人	大映(京都)	森一生	羅門光三郎 阿部九州男
1942	男の意気	松竹(大船)	中村登	上原謙、木暮実千代
1942	南の風 瑞枝の巻	松竹(大船)	吉村公三郎	佐分利信、高峰三枝子
1942	虹の道	大映(東京)	伊賀山正徳	天中軒雲月 天中軒雲月嬢
1942	八処女(やをとめ)の歌	大映(東京)	古野栄作 小石栄一	立松晃、真山くみ子
1939	必勝の信念	星映画社	高波三郎	富士幸三郎、竹田一夫
1942	婦系圖	東宝	マキノ正博	長谷川一夫 山田五十鈴
1942	父ありき	松竹(大船)	小津安二郎	笠智衆、佐野周二
1942	母は死なず	東宝	成瀬巳喜男	菅井一郎、斎藤英雄
1942	母よ嘆く勿れ	新興キネマ(東京)	深田修造	宇佐美淳、小柴幹治
1942	緑の大地	東宝	島津保次郎	入江たか子、丸山定夫
1942	續 婦系圖	東宝	マキノ正博	長谷川一夫 山田五十鈴
1942	山参道	大映(東京)	島耕二	中田弘二、真山くみ子
1943	をぢさん	松竹(大船)	渋谷実 原研吉	河村黎吉、飯田蝶子
1943	家	松竹(太泰)	倉谷勇	小澤榮太郎、小杉勇
1943	家に三男二女あり	松竹(大船)	瑞穂春海	河村黎吉、吉川満子
1943	御存じ右門 護る影	大映(京都)	西原孝	嵐寛寿郎、伊庭駿三郎
1943	姿三四郎	東宝	黒澤明	大河内伝次郎、藤田進
1943	若き姿	朝鮮映画製作 東宝[製作協力] 松竹[製作協力]	豊田四郎	佐分利信、丸山定夫
1943	重慶から来た男	大映(東京)	山本弘之	水島道太郎、石黒達也
1943	暖き風	松竹(京都)	大庭秀雄	志村喬、岡村文子
1943	望樓の決死隊	東宝 朝鮮映画製作[製作 応援]	今井正	高田稔、原節子
1944	お馬は七十七萬石	大映(京都)	安田公義	戸上城太郎 月形龍之介
1944	決戦	松竹(大船)	吉村公三郎 [構成] 秋山輝男	安部徹、遠藤慎吾
1944	五重塔	大映(京都)	五所平之助	花柳章太郎、森赫子
1944	小太刀を使ふ女	大映(京都)	丸根賛太郎	水谷八重子、原健作
1944	怒りの海	東宝	今井正	大河内伝次郎、原節子
1944	肉弾挺身隊	大映	田中重雄	水島道太郎、若原雅夫
1944	日常の戦ひ	東宝	島津保次郎	佐分利信、轟夕起子
1944	命の港	東宝	渡辺邦男	長谷川一夫 竹久千恵子
1944	愉しき哉人生	東宝	成瀬巳喜男	柳家金語樓 中村メイコ
1944	狼火は上海に揚る	大映 中華電影	稲垣浩[演出 監督] 岳楓胡心靈	阪東妻三郎 月形龍之介
1944	姿なき敵	大映	千葉泰樹	宇佐美淳、佐伯秀男
1945	生ける椅子	大映	野淵昶	阪東妻三郎、 平井岐代子
	稼に追付く貧乏なくて	徳永プロダクション	李圭高	
	新しき生活	旭日映画社	小澤得二	恩田清二郎 坂井美紀子
	六助と数馬 解説版時代劇[仮題]			
	兄と弟[仮題]			
	三人の侍(障害者の競争)[仮題]			
	鐘つき老人の寄付[仮題]			保瀬薫、村田静子
	郵便配達夫の娘と息子[仮題]			

製作年	映画題名	製作会社	監督	出演
	漁村の寄合[仮題]			
	日守新一主演 蒲田喜劇[仮題]			日守新一
	橋の爆破作戦[仮題]			
	山火事を出した父[仮題]			
	杉狂児主演 現代劇[仮題]			杉狂児
	大岡忠相对松平頼昭[仮題]			
	朝鮮の少年[仮題]			
	朝鮮の地税納税[仮題]			
	動物と侍[仮題]			
	二宮金次郎[仮題]			
	美少年剣士[仮題]			
	不知火献上[仮題]			
	愚兄賢弟[仮題]			
	赤誠の歌[仮題]			池田辰夫
	鳥脱け 明治物[仮題]			

文化・記録映画(126作品)				
製作年	映画題名	製作会社	監督	
1922	陸軍特別大演習 第壹報			
1926	大正天皇御大喪儀[仮題]			
1926	菓子と乳製品	明治製菓		
1928	大連の大和ホテル[仮題]			
1929	ツエッペリン エル・ゼット127号 日本訪問	松竹(蒲田)		
1929	ツエッペリン エル・ゼット127号 日本訪問 1929 ～第二報～	松竹(蒲田)		
1929	朝日は輝く	大阪朝日新聞社 日活		溝口健二、伊奈精一
1931	満蒙派遣軍への統後の支援[仮題]			
1931	柳條溝事件[仮題]			
1932	建国体操[仮題]			
1932	新國家承認の前奏曲 満洲国協和會 派遣使節入京	満洲国協和会		
1932	日本	東京日日新聞社 大阪毎日新聞社		
1932	満洲国の建国[仮題]			
1933	三陸地震における簡易保険救護班[仮題]			
1933	學國祝ぎ奉る 御めでたき遷宮祭			
1933	満洲國建國周年紀念			
1934	進展之國都大新京[仮題]			
1934	大典觀兵式			
1934	満洲国の建国[仮題]			
1934	北鮮の羊は語る	朝鮮總督府		
1935	康德二年 全國聯合協議會	満洲国協和会		
1935	大典觀艦式			
1935	第二回建国記念大会運動会	松竹		
1935	満洲國皇帝日本御訪問[速報版]	南満洲鉄道		
1935	満洲國皇帝日本御訪問[中国語版]	南満洲鉄道		
1935	満洲國皇帝陛下御訪日	東京日日新聞社 大阪毎日新聞社		
1936	看啊!! 新國軍 第二卷 興安軍官學校之巻			
1936	學國一心	満洲帝国協和会		
1936	空軍第二陣	満洲帝国協和会		
1936	護れ森林	樺太庁林務課		
1937	慰勞滿人軍夫表彰式	満洲映画協会		田中利長

製作年	映画題名	製作会社	監督
1937	現代日本 教育篇	東亜発声ニュース	鈴木重吉
1937	現代日本 産業篇	東亜発声ニュース	鈴木重吉
1937	康德四年全国連合協議会〔仮題〕	満洲帝国協和会	
1937	三国防共協定・上海空爆〔仮題〕		
1937	無軌道支那	文化起業株式会社	
1937	黎明之華北	満洲映画協会	藤巻良二
1938	軍神西住大尉	国策文化映画協会	
1938	日東紡績修養団十周年記念 日東連合会発会式〔仮題〕	日東紡績	
1938	防共の契	満洲映画協会	吉田秀雄
1938	康德五年度 全国聯合協議會	満洲映画協会	
1938	シャム大野象狩	日活(多摩川)合同商事映画部	山本弘之
1938	時局演藝風景 第一篇	オールキネマ社	
1938	日満親善 満洲武術	三幸商会	
1939	協和青少年団動員大会〔仮題〕		
1939	康德六年度 全国聯合協議會	満洲映画協会	新田稔〔構成〕
1939	新民會 會長推戴式典		
1939	日本の姿 聖地高千穂	朝日映画製作株式会社〔撮影録音〕 鐵道省	村尾薫〔監督編輯〕
1939	満洲国の防共協定加入〔仮題〕	満洲映画協会	
1939	黎明の寶庫 東邊道	満洲映画協会	森信〔構成〕
1939	興亞之希望	朝日映画社	
1940	康德七年度 全国聯合協議會	満洲映画協会	森信〔構成〕
1940	新しき職場		
1940	朝鮮の愛國日	朝鮮総督府	
1940	建国忠靈廟鎮座祭	満洲映画協会	新田稔
1940	神武殿落成式・満洲国皇帝第二回訪日〔仮題〕		
1941	艦隊訓練 黒潮踊る太平洋	海軍省	
1941	朝鮮総督府陸軍兵志願者訓練所〔仮題〕		
1941	日露戦争秘史 興亜の人種	旭映画 K.J.E	山下元廣
1941	満洲徴兵検査〔仮題〕		
1942	パレンバン攻撃〔仮題〕		
1942	海軍報道班員 ラバウル前線報告	日本映画社	
1942	海軍報道班員 現地報告 第1輯 基地の建設	日本映画社	
1943	治水記	朝日映画社	坂本爲之
1943	この一冬	電通映画社	中川順夫
1943	大東亜共同宣言〔仮題〕		
1943	報恩出荷〔仮題〕	満洲映画協会	
1944	昭和十九年春場所記録 國技大相撲 必勝敢闘篇	大日本相撲協会	
1944	昭和十九年春場所記録 國技大相撲 鍛練成果篇	大日本相撲協会	
	ブラジル移住	大日本教育映画協会	
	過新年	満鉄影片部	
	海軍大演習	海軍省	
	葛原冷蔵船 豊光丸尼港行	東亜キネマ	
	製紙作業	王子製紙	
	貯蓄戦への銃列	防共文化社映画部	
	百獣天國	フデワラフィルム・ラボラトリー	
	黎明之西部満洲	松竹影片公司	
	黄海道公立師範學校		
	慰問演芸〔仮題〕		
	稻藁の使用〔仮題〕		
	海軍訓練風景〔仮題〕		
	漁場の開墾〔仮題〕		

製作年	映画題名	製作会社	監督
	魚の養殖〔仮題〕		
	教育救済事業〔仮題〕		
	勤勞報國〔仮題〕	朝日映画	
	五国協和集会〔仮題〕	満洲映画協会	
	護れ日本海〔仮題〕		
	光明無限の郷村〔仮題〕		
	国家総動員〔仮題〕	朝日新聞社	
	国民勤勞訓練所〔仮題〕		
	穀倉満洲〔仮題〕	満洲映画協会	
	資源愛護〔仮題〕		
	十月二十日の奉天省公署〔仮題〕		
	新京の建設〔仮題〕		
	神通川〔仮題〕	朝日新聞社	
	生物の進化〔仮題〕		
	生物の生殖〔仮題〕		
	戦時下の北見 春夏〔仮題〕		
	体操と生産〔仮題〕	国際文化振興会	
	体操の効用〔仮題〕		
	大兵站基地満洲〔仮題〕	満洲映画協会	
	大満洲帝國萬歳〔仮題〕		
	年度不明 満洲帝国協和会会議〔仮題〕		
	帝国軍人の養成〔仮題〕		
	天竜川の用廃水路工事〔仮題〕		
	東京の風景〔仮題〕		
	日本の娯楽〔仮題〕		
	日本の陸海軍〔仮題〕		
	日本海軍の勇姿〔仮題〕		
	農業品評会〔仮題〕		
	農事合作社〔仮題〕		
	農村の教化〔仮題〕		
	博覧会見物〔仮題〕		
	富村良俗 田原村〔仮題〕		
	捕鯨船〔仮題〕		
	北支の綿花栽培〔仮題〕		
	北辺鎮護〔仮題〕		
	満洲の休日〔仮題〕		
	満洲国学童使節団の日本訪問〔仮題〕		
	亞細亞映画社 濟南空撮〔仮題〕	亞細亞映画社	
	軍艦高千穂〔仮題〕		
	朝鮮のある市の風景〔仮題〕		
	朝鮮労働者水利組合〔仮題〕		
	中国の燈籠祭〔仮題〕		
	東京の風景〔仮題〕		
	満洲風景〔仮題〕		

アニメーション映画(10作品)

製作年	映画題名	製作会社	監督
1933	結核豫防	内務省衛生局	
1936	マー坊の東京オリンピック大会	佐藤線映画製作所	佐藤吟次郎、千葉洋路
1939	漫画 夢の召集令	三幸商会	
1941	動物となり組	日本映画科学研究所	熊川正雄
1942	お猿の三吉 防空戦	日本マンガフィルム研究所	片岡芳太郎
1942	桃太郎の海鷲	芸術映画社	瀬尾光世
1943	闘球肉弾戦	松竹(動画研究所)	桑田良太郎
1944	フクチャンの潜水艦	朝日映画社	横山隆一、関屋五十二
	線画喜劇 淘氣孩子的團圓兒	岩松洋行教育活動写真部	
	ワニザメと白兎〔仮題〕		

ニュース映画(36作品)			
製作年	映画題名	製作会社	内容
1929	朝日新聞映画ニュース 浪華夏祭風景 昭和四年七月	大阪朝日新聞社	生國魂神社、築港住吉 お旅祭り、難波八坂神社、御霊神社、高津神社、浪速神社、茨住吉神社、陶器神社、天満宮、住吉神社
1932	協和映画時報 九・一五 九・一八 記念特輯號	満洲帝国協和会	満洲事変(柳条湖事変)記念行事の記録
1933	朝日映画ニュース 昭和八年度 日本一健康児探し	東京大阪朝日新聞社	健康優良児のコンテスト、表彰
1935	S.M.R.ニュース 満洲國皇帝陛下 御訪日	南満洲鉄道	横濱御着、東京御着、御旅館 赤坂離宮、宮城御参入
1935	S.M.R.ニュース 満洲國皇帝陛下 御訪日 第二報	南満洲鉄道	特命 近衛師團觀兵式
	協和満映時事報 第七輯	満洲帝国協和会	秘境熱河的 修築状況(承德)、第二回全滿滑翔機競技大會(新京)、第三回全滿軍用犬競技會(新京)、大義寺供養塔慶讃式典執行(奉天)、第二松花江發電所定礎式(吉林)、満洲國赤十字社創立記念式典(新京)、モンゴル風景
	協和満映時事報 号不明	満洲帝国協和会	満洲國皇帝陛下 奉天、撫順、鞍山 御巡狩
1939	満映時報 号不明	満洲映画協会 満洲帝国協和会	薩布素將軍250周年祭、庚子事変慰靈祭
	満映時報 第311報	満洲映画協会 満洲帝国協和会	石炭増送、酷暑鍛練、奉天市民、建国杖、壮丁皆習泳、滑空訓練
1943	朝鮮時報 第11報	朝鮮映画製作株式会社	叩き潰せ敵米英、武勲輝く武山大尉の生家を訪ねて、ぼく等は海の子、半島科學の凱歌 松炭油の登場、本邦最初の割増金附定期預金 第一回抽選発表、敵撃滅へ 掘り出せ一塊
1943	満映通信 第236報	満洲映画協会	世界史 華まるの日、十二月八日、東亞共栄の歴史初まる、中華民國、泰國、緬甸國、比律賓共和國
1944	満映通信 号不明	満洲映画協会	十億總進撃、東京、大連、新京
1944	満映通信 第281報	満洲映画協会	決戦第四年、俊鋭巢立つ、この決意、新京、哈爾濱、阜新、撫順、生産戦へ 官吏挺身、撃墜敵機 B29
1944	満映通信 第284報	満洲映画協会	各部大臣 必勝布陣、國軍の兵隊さん有難う、桂林攻略
1945	満映通信 第288報	満洲映画協会	女學生 看護挺身隊、陸の特攻隊震天制空隊員、皇國鎮護の神と化せる二神鷲の英姿
1945	満映通信 第291報	満洲映画協会	巢立つ 國軍精銳、協和總攻撃 全國會員大會、壮絶!!!リンガエン灣、B29邀撃戦
1945	満映通信 第292号	満洲映画協会	勇武特攻隊、蘭花特攻隊
1945	満映通信 第306報	満洲映画協会	故 于將軍國軍葬、國軍精銳、軍官學校 野營演習
1945	満映通信 第312報	満洲映画協会	皇帝陛下御臨 全國協議會、勤勞一路、森林に挑む、木造船進水、鹽
1941	ACTUALITES du MONDE No.1	日本映画社	ニューギニア前線、南西太平洋の戦い、サロモンの日本軍航空基地、ミルン湾爆撃
1941	ACTUALITES du MONDE No.2	日本映画社	宣戦布告、長谷川製作所のビルマ工場、フィリピンの夜明け
1941	ACTUALITES du MONDE 号不明 フィリピンの鉱山 他	日本映画社	フィリピンの鉱山、マライの産業発展、ジャワの技術指導
1942	ACTUALITES du MONDE No.15	日本映画社	日本の造船、進水式、グアム島奪還された平和の光景、アンダマン諸島占拠、バタン半島陥落、米軍捕虜の姿
1942	ACTUALITES du MONDE No.16	日本映画社	スルタンの山下將軍訪問、大東亞戦争、日本海軍インド洋制圧
1942	ACTUALITES du MONDE No.17	日本映画社	フィリピン人の農作業、ジュートの生産、コレヒドール陥落、祝勝パレード、マンダレー攻撃
1942	ACTUALITES du MONDE No.18	日本映画社	日本の重工業、東條首相 工場訪問、アジア再編 バタビア、大東亞戦争 ビルマ戦線、支那ビルマ国境進撃
1942	ACTUALITES du MONDE 号不明 全アジアに広まる日本文化	日本映画社	全アジアに広まる日本文化、バタヴィア 日本語教育 ラジオ体操、アジアの変貌、日本海軍 インド洋を制圧、セイラン爆撃 トリンコマリ爆撃
1943	ACTUALITES du MONDE 号不明 オロ湾攻撃 他	日本映画社	多くの英米兵が捕虜になったフィリピン戦、米軍機の惨状(残骸)、カントン 南太平洋 負傷米兵、日本航空隊 オロ湾を攻撃
1943	ACTUALITES du MONDE 号不明 南洋の戦果 他	日本映画社	太平洋 東南地域における今日までの戦果
1939	同盟ニュース No.89	同盟通信社	戦捷の春に開く 陸海空軍國繪巻 東京 神奈川 茨城 中支、新建設への出発 平沼内閣成る東京、冬の猛威 白魔狂ふ北日本 北陸線、冬の魅惑 ウインタースポーツの妙技 長野 カリフォルニア ポストン、悠々たり我が戦士 陣中のオリムピック 中支
1943	英語ニュース映画集[仮題]		日本の海軍
	朝日世界ニュース 号不明	朝日新聞社	お相撲さん徴兵検査(東京)、早明遂に六大学野球 覇権決定戦へ、いふし出し戦術 残敵掃蕩、秩父宮殿下 傷病兵を御慰問(南京)、北支戦線に御活躍の 閑院若宮御帰還(東京)
	日本ニュース断片集[仮題]	日本映画社	第13回全国連合協議会
1942	日本ニュース 第86號	日本映画社	戦禍を越えて甦る香港、建設議會再開、アメリカ捕虜の内地生活、フィリッピン戦線
1942	日本ニュース 特報 第86號-2	日本映画社	泰・米英開戦、泰國軍戦備完了、メダン爆撃
1944	日本ニュース 第189号	日本映画社	ビルマ奪還後ビルマ・インド国境に備え、インド国民軍1/7、チャンドラ・ボースが独立運動、デリーへ、わが陸軍 基地を出発 チッタゴンをめざす



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。

National Film Center (NFC) of The National Museum of Modern Art, Tokyo is a full member of the International Federation of Film Archives (FIAF). The Federation brings together institutions dedicated to the rescue and preservation of films, both as elements of cultural heritage and as historical documents.

東京国立近代美術館ホームページ
<http://www.momat.go.jp/>

お問い合わせハローダイヤル
☎03-5777-8600

「NFCニューズレター」第61号
(2005年6月-7月号/隔月刊)

発行・著作:
独立行政法人 国立美術館/東京国立近代美術館 ©
編集:
東京国立近代美術館フィルムセンター
〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
☎03(3561)0823
制作:
印象社
発行日:
2005年6月1日

* 無断転載を禁じます。

NFC NEWSLETTER
Bimonthly
(Volume XI No.2 June-July 2005)

Published and Copyrighted by
The National Museum of Modern Art, Tokyo ©
(Independent Administrative Institution National Museum of Art)
Edited by
National Film Center
(The National Museum of Modern Art, Tokyo)
Add.: 3-7-6 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104-0031, Japan
Tel.: 03(3561)0823
Designed and Produced by
Insho-sha
Date of Publication:
June 1, 2005

*No part of this publication may be reproduced or
reprinted without the approval of the publisher.